

令和2年6月10日（水）

発行 宇城市立 小川小学校

## 子供たち みんな元気に 学校再開 給食も始まりました

6月1日から、待ちに待った本格的な学校再開となりました。学校で友達と仲良く遊んだり、勉強したりするのを楽しみにしていた気持ちが子供たちの笑顔で伝わってきました。

ただ、分散登校で心と体を慣らしての再開でしたが、子供たちも先生方も1日終わって疲れがどっと出る感じが、しばらく続きました。これから暑くなりますし、湿気もあります。さらにマスク着用ということで、感染予防はもちろんのことですが、熱中症予防もしっかりしていきたいと思えます。



【1年生 給食の様子】

\*\*\*\*\*

## PTAのご協力で イモ苗植え 1・2年生 片山さんたちと！



体育館西側の畑を1年生保護者の片山さんに耕してもらい、さらに畝を作りマルチをしていただきました。そして6月1日に片山さんご夫婦の指導のもと、

約300本のイモ苗を植えることができました。昨年度は、大きなイモで大豊作でしたが、本年度も11月の終わりには、たくさんのイモを収穫できることと思います。子供たちで、水やり、草取りをこまめに行っていきたいと思えます。小川小の素晴らしいところは、子供の教育を学校ばかりでなく、たくさんの方々とともにいることだと思えます。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



## 5年生も野菜の苗植え トマト、ピーマン、なすび、唐辛子

以前、小学校PTA会員だった鐵井さんよりトマト、ピーマン、唐辛子、なすびの苗を約70本いただき、本校保護者の谷口さんに持ってきていただきました。さっそく、片山さんからマルチをしていただいていた畝に5年生全員で植えさせていただきました。たくさん種類の野菜を植えましたので、ぜひ収穫できるよう管理していきたいと思います。

\*\*\*\*\*

## 地震津波避難訓練 校長講話 「自分の命は自分で守る」

命に関わることでありますので、密を避けながら6月8日業間(20分間)に地震津波避難訓練を行いました。地震中は机の下にもぐり、その後、運動場に距離を保ちながら広がって避難しました。例年、津波から身を守るため観音山グラウンドまで避難していましたが、本年度は中止しました。避難が終わって、私からは日頃の訓練の大切さを子どもたちに下のように訴えました。これから梅雨に入り、大雨や洪水の危険もあります。どうぞ、私の話を種に、いざという時の家族の集合場所を決める等、ご家庭で会話を広げてください。



4年前、熊本でも地震がありました。この小川町も揺れました。地震の時、校長先生は校長先生のお父さんとお母さんのことが心配で実家をすぐ見に行きました。そうしたら、90歳の両親は、真っ暗な部屋の中、膝と手をつきながら手探りで、自分たちの力だけで家から出てきました。地震は怖いなあと感じましたが、校長先生の両親のように自分の命を自分で守り抜くことの大切さを感じました。

では、どうしたら、全員が自分の命を守り抜くことができるのでしょうか。

それは、「揺れから身を守る」「放送をしっかりと聞く」「普段から集まる場所を確認しておく」ことが大切です。これができるようになるには、避難訓練を真剣に行うことです。ですから、今日は、みんながどれくらい真剣に避難訓練をしてくれているかをしっかりと見ていました。ただ、ひょっとしたら、休み時間かもしれませんね。

だから、もう一回、今日、絶対覚えてもらいたいことを3つ言います。大きな地震があったら、「揺れから身を守る」「放送をしっかりと聞く」「集まる場所は運動場」です。この避難訓練で学んだことを忘れないようにしましょう。

## これからの教育活動について

学校再開にあたり、宇城市の地域感染レベルを「レベル1」として対応する旨、宇城市教育委員会より方針が出されました。「レベル1」とは、1mを目安に学級内で距離をとること、感染リスクの高い教科も十分な対策を行った上で実施してよいなど行動基準が設けられています。音楽で歌うことや、家庭科の調理実習なども、感染防止に取り組みながら随時行ってまいります。また、スポーツ庁からもプール水の残留塩素濃度が適切に管理されていればリスクは低く、授業中や着替えの3密をしない、用具の共有をしない、ドアノブなどの消毒など安全を確保し実施してもよいとの通知もきています。これからも家庭とともに子供さんの健康状況を確認し指導してまいります。もし、心配事がありましたら学校まで連絡ください。